

ホームページへの掲載		
11月	25日	掲載予定

## 岐阜県立岐阜工業高等学校

学校長 米澤 信雄

学校住所 岐阜県羽島郡笠松町常盤町1700 電話058-387-4141

1 会の名称 学校評議員の会

2 会の構成 委員 恩田 秀比良 株式会社オンダ製作所 専務  
川島 裕美 地域住民代表  
佐々木 伸幸 育友会会長  
堤 博幸 名古屋鉄道株式会社 笠松駅長  
南谷 清美 地域住民代表

(委員名は五十音順)

学校側 米澤 信雄 校長 森 保 教務主任  
沢井 和弘 副校長 嶋崎 美奈子 特活部長  
高橋 秀治 事務部長  
高橋 信行 教頭(全)  
高木 喜弘 教頭(全)

3 会の目的 学校運営等について、学校外の有識者等から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実に資するとともに、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを目指す。

4 会の開催 平成22年11月6日(土) 10:00~12:45 岐阜工業高等学校 校長室  
委員5人と学校側7人が出席

5 会の概要

**主テーマ 工業高校に期待するもの、地域から学ぶべきこと**

校長挨拶

- ・今年是一部公開文化祭である。本校には8学科あり、生徒同士がお互いの学科で何を勉強しているかを把握する機会にすることが狙いである。
- ・教育長から岐阜工の活躍を新聞で見る機会が多くがんばっていると褒めの言葉をいただいた。
- ・野球が県ベスト4に入った。公立では唯一本校だけであった。21世紀枠への推薦をしているので、生徒の励みになると思う。
- ・資格取得等では九州地区との差は大きい。そこで、九州の良いところを調べるために本校の主立った複数の教員に視察に行ってもらおう。名実ともに日本一になれるようにしたい。
- ・就職難の時代、200名の就職希望者のうち95%の内定をいただいている。
- ・学校は閉鎖的であると言われていたので、外部評価は重要であり、忌憚のない意見をいただきたい。
- ・前回の評議員の会で、教員の教える力が必要だと指摘されたので、教員が持っている資格状況等を調査した。技能士8名、内1名は技能士1級等、若い人を中心に多くの資格を取っていた。教員も若いうちに実技が伴うようにしなければならないと思っている。

## 文化祭の見学後のご意見

・あいかわらず楽しそうにやっていた。自分のやったことをちゃんと説明できている。エコの時代にあったものがあってよかった。派手に目立つものはないが、こつこつと作ったものがみられて好感が持てた。

・化粧品作りなど、生徒がやりたいということを先生も勉強して、生徒にやらせているのはすごいと思った。今後も子どもたちがやりたいことができるように対応してもらいたい。

・8学科をまとめていくのは大変だと思った。また、研究や技術の深さを求めていくのは大変だ。多能化は重要である。一人で3つくらいの技術が必要である。世の中のニーズに応えられる技術を持っていれば就職には困らない。ただ、技術や能力が高くて心が折れてしまうのは問題だ。心の強い生徒を育てて欲しい。40年間サラリーマンをやるのには凶太さも必要だ。資格ではQC検定を勧める。これはどの学科にも共通して対応できる。今日の文化祭を見て、生徒も先生も汗をかいていることがよくわかった。

・笠松駅にイルミネーションを付けていただくことになった。そのイルミネーションを文化祭の展示の中でシミュレーションして見せていただいて、すばらしいと思った。

・各科が目標を持ってものを作っている。それを高校年代からやっているのはすごい。どの部屋にも夢があった。テクニカルと夢を併せ持ったものづくりに取り組んでいた。重工業には機械も電気も化学もあらゆる分野が必要ある。しかし、機械を勉強してきたものが機械だけをやるのではなく、どの分野も専門外のすべてを学ぶ。高校でも各学科どうして、他学科が何をやっているのか見られるようになると良い。



## 外部評価アンケート結果報告

・全日制も定時制も保護者から昨年度を大きく上回る評価を得ることができた。しかし、授業改善等取り組まなければならない課題もわかった。（全日制：教務主任報告、定時制：副校長報告）

・メルマガで連絡がうまくいくようになったのは良いことだと思う。アンケートや文化祭の様子から地域や保護者から好意的に思われていることがわかる。

## 工業高校に期待するもの、地域から学ぶべきこと

・メルマガ等で便利になるのはよいが、便利さになれると危機のときに対応できなくなる。危機管理の教育も必要だ。

・3年生くらいになれば自ら社会情報を取り入れられるようになると良い。

・イルミネーションとかSLとか地域の行事に積極的に参加して関わっていくのはとてもすばらしい。また、出前授業なども生徒が小中の児童の先生になる機会となり、教えるために勉強するし、コミュニケーション能力も高まるので、どんどん進めて欲しい。

・会社では鬱病が増えてきた。特に新入社員で、適応力があると思って話をすると、適応できずにつぶれてしまう。高校で適応能力をしっかりと付けて欲しい。

・社会では能力以上の事を要求されるようになってきて、ストレスが大きくなっている。リフレッシュすることが大事であり、そのために伝統文化と親しむことも重要である。世間はお楽しみのな行事に参加することを批判したりするが、できるだけ先生も生徒もすばらしい芸術や芸能を見る機会を設けて欲しい。

・企業は定年まで心身共に健康に働いて欲しいと思っている。メンタルヘルス教育も大事である。

校長挨拶

・本校は周りの方たちから好意的、肯定的に見ていただけている。これが今後も続くように努力していきたい。

・岐阜工業高校ががんばることで岐阜県全体の工業高校が伸びていくと思っている。

